

⑥ リチウムイオン電池等の適正処理の推進

＜事例紹介 1＞

「リチウムイオン電池の拠点回収の現状について
（ごみ処理施設の火災事故から2年間の軌跡）」

守谷市

生活経済部 生活環境課 高見 祐輔

リチウムイオン電池の拠点回収の現状について (ごみ処理施設の火災事故から2年間の軌跡)

茨城県守谷市役所 生活環境課
令和8年8月6日



1

目次

- ①守谷市の紹介
- ②守谷市の家庭ごみの分別について
- ③守谷市の家庭ごみの排出量
- ④常総環境センターの紹介
- ⑤常総環境センターの火災事故について
- ⑥不燃ごみの外部搬出と復旧計画
- ⑦リチウムイオン電池の回収対象の拡大
- ⑧分別の変更
- ⑨環境省による実証事業への参加
- ⑩リチウムイオン電池の分別についてSNS等を活用した周知
- ⑪小学生の提案によるラッピング電車

2

茨城県全図

北茨城市
高萩市
日立市
常陸大宮市
常陸大田市
大子町
東海村
那珂市
ひたちなか市
大洗町
茨城町
水戸市
笠間市
城里町
石岡市
小美玉市
鉾田市
行方市
鹿嶋市
神栖市
河内町
利根町
龍ヶ崎町
牛久市
茨城町
土浦市
かすみがら市
美浦村
阿見町
つくば市
常総市
坂東市
下妻市
筑西市
結城市
八千代町
古河市
五蔵町
境町

水戸駅 (水戸市)

-

守谷野鳥のみち



守谷市イメージキャラクター
「こじゅまる」

MORIYA 

3

守谷市の家庭ごみの分別について (2026年度)

[illegible]

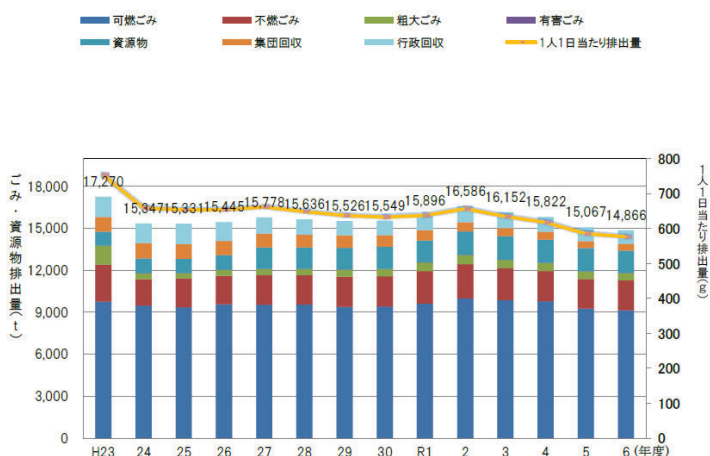
詳しくは、「常総広域圏 家庭ごみ分別の手引き」をご覧ください。

MORIYA 

4

守谷市の家庭ごみの排出量

■家庭から排出されたごみ・資源物排出量（事業系除く）の推移



■令和6年度は、14,866トン。

■ごみの種別による構成比は、

可燃ごみ：61.4%

不燃ごみ：14.4%

資源ごみ：10.7%

有害ごみ：0.1%

■排出されたごみは、常総環境センターに搬入している。



5

常総環境センターの紹介

常総環境センターとは...

■常総市、取手市、守谷市、つくばみらい市で構成される「常総地方広域市町村圏事務組合」が運営するごみ処理施設。

■所在地は守谷市野木崎。

■焼却施設(可燃ごみ・資源化施設で発生した残渣)と資源化施設(不燃ごみ・資源物等の選別)がある。

【常総環境センター遠景】



6

常総環境センターの火災事故について①



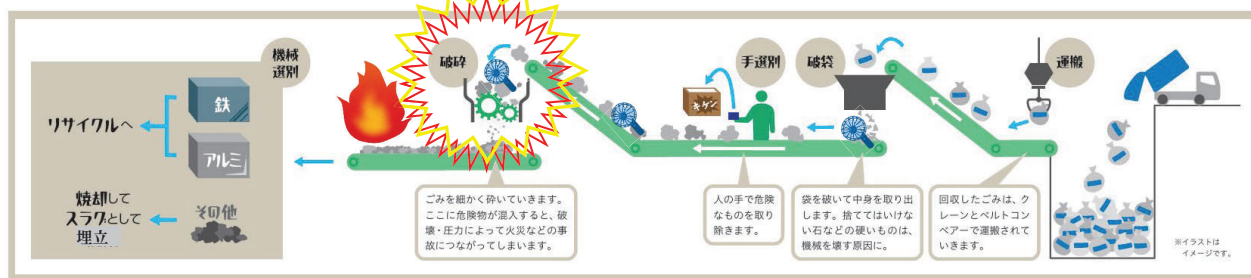
- 令和6年12月9日13時27分に資源化施設で不燃ごみ処理作業中に火災が発生。
- 消防吏員・消防団員総勢81名が対応。消防車両19台が出動。
- 令和6年12月10日10時に鎮火。
- 発生場所：常総環境センター資源化施設 No.2破砕物搬送コンベア付近
- 火災事故の調査の結果
「燃え方や同様のケースがあったことを踏まえ、リチウムイオン電池などの混入で発火したと推察。」

MoRiYA

7

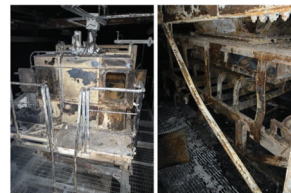
常総環境センターの火災事故について②

不燃ごみの流れと火災の発生経緯



事故前

事故後



No1.破砕物搬送コンベア

No 2.破砕物搬送コンベア

MoRiYA

No1.破砕物搬送コンベア

No 2.破砕物搬送コンベア

8

不燃ごみの外部搬出と施設の復旧計画



- 事故後、資源化施設で不燃ごみの処理ができなくなったため、市外の民間処理施設に外部搬出で処理。
- 収集した不燃ごみは、常総環境センターの敷地内に仮置き。
- 外部搬出費用は年間約5億円
- 外部搬出費用は構成各市のごみの排出量によって按分。
- 被災した資源化施設の復旧工事費は約42.5億円の見込み。
- 復旧の時期は令和9年9月末を予定

火災事故後にリチウムイオン電池の回収対象を拡大

	令和7年1月まで	令和7年2月以降
回収場所	市役所窓口	市役所・公民館など公共施設の電池回収BOX
回収対象	JBRC会員企業のリチウムイオン充電電池	・リチウムイオン充電電池 (JBRC非会員企業製品も可) ・リチウムイオン電池が外せない小型家電製品
イメージ		

分別の変更(1回目)

広報もりや令和7年3月号記事

常総環境センターからのお知らせ

4月から不燃ごみの出し方が変わります

4月から不燃ごみを「ビニール、プラスチック製容器包装以外のプラスチック類」と「金属類、割れ物」に分けて収集します。どちらも不燃ごみ専用袋を利用してください。分別にご協力をお願いします。

令和6年12月の火災により、不燃ごみの処理機能が停止しています。現在、多額の費用をかけてすべての不燃ごみを外部施設に搬出しています。不燃ごみをプラスチック類と金属類に分けることで、搬出量を大幅に削減し、費用を抑えることができます。



不燃ごみの分け方と回収日		
回収日	第1、2、4、5月曜日	第3月曜日
不燃ごみの分類	ビニール、プラスチック製容器包装以外のプラスチック類	金属類、割れ物
ごみの例	・プラスチック ・皮革 ・ホース ・ビデオテープ ・CD など	・金属(鉄、アルミ、ステンレス) ・セトモノ ・傘 など

▶問合せ 生活環境課 環境・廃棄物G 内線143

※プラスチック製容器包装は資源物として出してください。



11

分別の変更(2回目)

広報もりや令和7年11月号記事

不燃ごみの分別方法について

令和8年4月から 金属類・割れ物専用袋を導入します

今年4月から、不燃ごみを「プラスチック類」と「金属類・割れ物類」に分けて収集しています。現在、どちらの品目も青色の不燃ごみ袋を使用いただいておりますが、「分別が分かりにくい」との意見が多く寄せられました。この課題を解決するため、「金属類・割れ物類」専用の指定ごみ袋(黄色)を新たに導入します。

令和8年4月からの
変更点

プラスチック類 → 青色のごみ袋
金属類・割れ物類 → 黄色のごみ袋

袋の
販売開始時期

令和8年2月以降

サイズは
中(30リットル)と
小(10リットル)の
2種あります

新しい袋を配布します！

今回に限り11月下旬から、各世帯に1セット(10枚)ずつ、金属類・割れ物専用袋をポストインで配布します。
配布以降から使用できますのでぜひご利用ください。

▶問合せ 常総環境センター ☎48-2314 ・生活環境課 環境・廃棄物G 内線143



令和7年3月10日 配布・HP掲載

令和8年4月1日から

金属類や割れ物等を出す場合は
金属類・割れ物専用袋を使用してください

金属類・割れ物を不燃ごみ専用袋(青色)で出された場合は**回収できません**

金属類・割れ物専用袋 **不燃ごみ専用袋**

※プラスチック製容器包装に該当するものは除く

※ごみ袋に収まる
廃棄物

※電気・電子機器
は必ず封入

※プラスチック製品

※ゴム類

※布類

※一部に金属類や割れ物が入っているような製品は、
プラスチック袋としてお出しください。

下記のようなものは火災発生の原因となりますので、**ごみ袋には入れないでください**。
※危険に該当している場合は回収ボックスに入れてください。

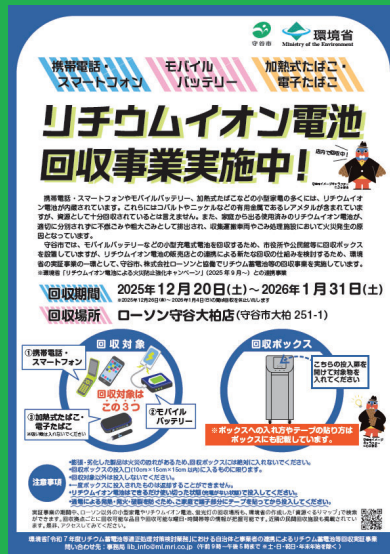
・モバイルバッテリー ・リチウムイオン電池 ・ニッケル水素電池
・ニッケルカドミウム電池 ・充電式電池が内蔵されている充電式家電製品
【例：電子タバコ、ハンディファン、ワイヤレスイヤホン、電気シェーバーなど】

【電気用品安全法対象品】
・市役所 ・文化会館 ・保健センター ・各公民館(中央、高野、柳川、北守谷)

【問合せ先】
常総環境センター 環境・廃棄物G
TEL: 48-2314 内線: 143・144

12

環境省による実証事業への参加



- ローソン社の協力により、市内の2店舗で実施。
- 回収品目は、携帯電話、電子たばこ、加熱式たばこ、モバイルバッテリー。
- 膨張・劣化した製品は、回収対象外。
- 高性能の専用の回収ボックスで安全に回収。
- アンケートの結果、ほとんどの方が「コンビニエンスストアで24時間好きな時に排出できると楽でよい」と回答。



13

リチウムイオン電池の分別についてSNS等を活用した周知の例



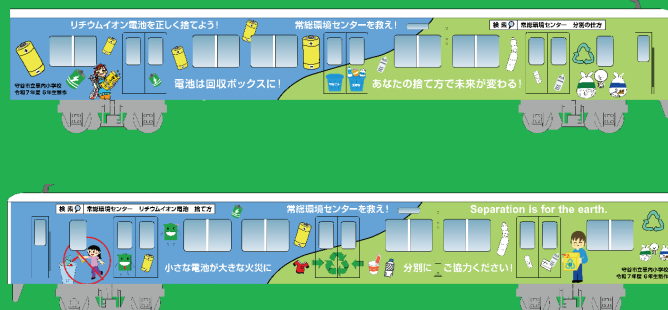
14

市内の小学生の提案によるラッピング電車の運行

小学生への出前授業の様子



小学生たちがデザインしたラッピング電車



事故後の守谷市の主な対応のまとめ

年	月日	対応内容等
令和6年	12月9日	常総環境センターの資源化施設で火災が発生。
令和7年	2月	JBRC非会員企業のリチウムイオン電池も拠点回収にて対応を開始。
	3月10日	広報誌にて4月から不燃ごみの分別細分化（プラスチック類と金属類・割れ物）を周知。
	4月21日	不燃ごみ区分を細分化して収集を開始。
	6月10日	令和7年度「もりやクリーンカレンダー」修正版の配布。
	10月15日	環境省によるリチウムイオン電池回収の実証事業に参加。
	11月10日	広報誌で令和8年4月から「金属類・割れ物」専用のごみ袋新設の周知。
	12月	常総環境センターが「金属類・割れ物」専用のごみ袋を全戸配布。
令和8年	3月10日	児童たちがデザインを考案したラッピング電車が走行開始。
	4月1日	「金属類・割れ物」専用袋を使用したごみ収集を開始。

ご清聴ありがとうございました。

